

「令和4年度延岡市未来技術地域実装協議会」

# 行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業

～地域通貨「のべおかCOIN」の取り組み事例について～

令和4年8月25日（木）

延岡市 商工観光文化部 商業・駅まち振興課



## 本市の現状・課題

- 東九州屈指の工業都市として発展、製造業の分野などでは、域外から所得（付加価値）を一定程度獲得している。
- 一方で、市内小売業の小売吸引力指数は1未満と市外へ消費が流出している傾向



- 生産年齢人口の減少により所得（付加価値）を稼ぐ力が減少
- 小売業等の分野においてもこれまで以上に域外への消費流出が増加



**地域経済の縮小が懸念**

## 課題解決に向けて

### 地域経済の「成長」と「分配」

事業者・創業等を積極的に支援

☞ 事業拡大・新分野進出・第二創業等支援事業

☞ 創業支援等事業計画推進事業

☞ 元気な中小企業応援事業 など



**【成長】市内生産額（付加価値額）の向上**

**【分配】雇用者所得の向上**



**上記の取り組みと併せて、「域内消費」を推進し、地域経済の好循環を目指す必要がある。**

## 域内消費のツールとして地域通貨「のべおかCOIN」を活用

### 地域マネー機能

- ・市内の加盟店において現金を電子マネーとしてチャージ
- ・チャージした電子マネーは加盟店で利用

### 地域ポイント機能

- ・加盟店で買い物をすると決済額の1%ポイント還元
- ・ボランティア活動など「まちづくり」に参加して行政ポイント発行
- ・企業・団体の皆様が顧客獲得・地域貢献・健康経営にポイント発行
- ・NPOなどまちづくり活動する団体へポイントを寄付

ユーザはマネーチャージやポイントを獲得して加盟店で消費（市内経済の好循環）  
まちづくりでポイント獲得、獲得したポイントを寄付（まちづくり活動の醸成）

# 地域通貨「のべおかCOIN」の概要

## 市民（ユーザ）



のべおかCOINアプリ



## 地域ポイントを貯める（発行者：市、加盟店、企業・団体）

加盟店で買い物



買い物で獲得

市民の  
まちづくり参加



スポーツ・ボランティア  
イベント参加で獲得

健康経営・  
働き方改革



企業の中で獲得

## 地域ポイントを使う

加盟店で買い物



買い物に利用

イベントで利用



特別な景品と交換

福祉・公益事業  
へ寄付



子ども食堂  
教育事業へ寄付

## 地域マネーをチャージして使う（発行者：延岡市）



延岡市からお知らせ お得なクーポン



自治体



加盟店・企業等

## のべおかCOIN 運営事務局

プロモーション  
イベント開催  
経費の精算 等



# 地域通貨「のべおかCOIN」の普及に向けた取り組み

## 取り組み① 【ユーザを獲得し域内消費を推進する取り組み】

令和3年度

- ①アプリダウンロード 300ポイント付与（先着10,000人）
- ②マネーチャージ額の20%ポイント還元（総額1億円 一人上限20,000P）
- ③商品交換・商品抽選



加盟店から3,000円相当の商品・サービス券等をアプリ上の専用Webサイトに掲載し、ユーザは所有しているポイントで商品交換する。

ユーザは、商品交換後に2,000Pの還元を受ける

**【実績】 加盟店 107店舗参加 商品交換数 1,296個**

加盟店から20,000円相当の年末年始に関する商品等を集め、アプリ上の専用Webサイトに掲載し、ユーザは200Pで抽選できる。

**【実績】 加盟店 90店舗参加 抽選参加人数 2,349人**

## 取り組み① 【ユーザを獲得し域内消費を推進する取り組み】

令和4年度

### ① マネーチャージ額の30%ポイント還元

(総額1億2千万円 一人上限15,000P)

### ② 商品交換・商品抽選

加盟店から3,000円相当の商品・サービス券等をアプリ上の専用Webサイトに掲載し、ユーザは所有しているポイントで商品交換する。

ユーザは、商品交換後に1,500Pの還元を受ける

**【準備中】 令和4年10月中旬開始予定**

加盟店から10,000円相当の年末年始に関する商品等を集め、アプリ上の専用Webサイトに掲載し、ユーザは300Pで抽選できる。

**【準備中】 令和4年11月中旬開始予定**



## 取り組み② 【まちづくり活動に参加し域内消費を推進する取り組み】

### 「行政ポイント」発行一覧

種別	類型	事例	発行P
イベント・大会への参加	定期的（年4回以上）開催	人権啓発、交通安全、図書に関するもの	1回100P
	定期的でないもの	各種イベント、大会	100P～300P
講座・教室等への参加	定期的（年4回以上）開催	各種教室、講座	1回100P
	定期的でないもの	ボランティア養成講座 等	100P～300P
ボランティア活動への参加	定期的（年4回以上）	道路管理、学習支援 等	1回200P
	定期的でないもの	災害、イベント、清掃 等	200P～1000P
	時間単位で発行するもの	介護ボランティア	1時間100P
健康増進事業への参加	健診・検診受診	乳幼児検診、歯科検診 等	1回200P
	その他の健康増進事業	介護予防、100歳体操、健康教室 等	1回100P
その他の発行対象事業	戸籍に関する届出	婚姻届、出生届	1000P
	免許返納届		1000P
	その他	SDGs、人材バンク登録等の市の施策への参加、協力	200P～1000P

## 取り組み② 【まちづくり活動に参加し域内消費を推進する取り組み】

### ○企業ポイントの推進

- ①顧客獲得の手段としての地域ポイント発行
- ②企業の社会貢献活動における地域ポイント発行
- ③従業員の福利厚生における地域ポイント発行

### ○寄付ポイントの推進（これから運用）

地域活動を行っているNPO法人や団体へ、ユーザが地域ポイントを寄付できる仕組み



企  
業

禁煙ポイント

ノー残業ポイント

徒歩通勤ポイント

育メンポイント

体重買取ポイント

社内イベント参加ポイント

従業員提案ポイント

## 取り組み③ 【市が行う他の施策と連携した取り組み】

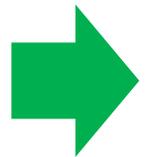


約8,000人が利用



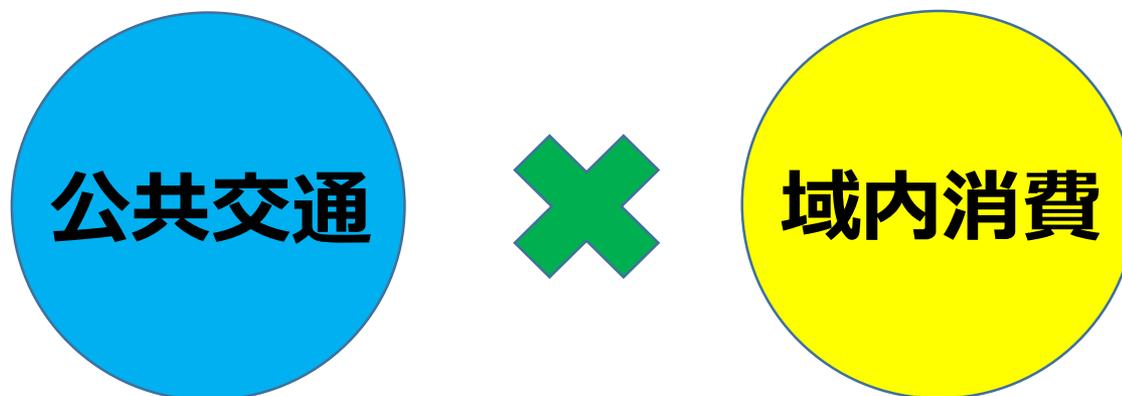
### のべおか健康マイレージアプリ

- 歩いた歩数をポイントとして付与
  - 4,000歩以上から1,000歩毎に1P（最大7P）
- 体重・血圧・体温を記録することで各1P付与
- リアルウォークコース 50P
- バーチャルウォークコース 20P～40P



**のべおかCOINアプリ**  
**地域ポイントに変換し**  
**域内消費として活用**

## 取り組み③ 【市が行う他の施策と連携した取り組み】



### 自治体マイナポイントモデル事業

【令和3年度 総務省のモデル事業を採択して実施】

市内路線バスで利用できるバス利用ポイントを3,000円分給付

対象：マイナンバーカードを取得した18歳以上の市民

給付及び利用方法

マイナポイントアプリから給付申請し、のべおかCOINアプリで3,000円分の「バス利用ポイント」の給付を受け、路線バスの降車時にQRコード決済できる。

効果

マイナンバーカードの促進、公共交通の利用促進、脱炭素社会の実現など

取り組み成果

項 目	令和4年8月17日現在の状況
ユーザ数	17,682人
加盟店数	467店舗
マネーチャージ額	606,763,530円
加盟店での消費額	564,098,807円

取り組み成果

のべおかCOIN加盟店利用状況（上位5業種）R3.8～R4.8

順位	業種	購入額	チャージ額	進呈ポイント
1	寝具小売業	14,290,708	15,249,072	182,271
2	エステ店	13,024,523	14,161,450	132,956
3	結婚式場	12,669,791	12,932,290	136,639
4	貴金属店	11,069,524	12,983,665	110,889
5	化粧品店	10,305,524	11,491,150	103,281

取り組み成果

「のべおかCOIN」年代別ユーザ分布

年代	R3年8月31日 (運用1か月)		R4年7月31日 (運用1年後)	
	10代	0.50%	5.70%	1.40%
20代	5.20%	10.00%		
30代	22.10%	74.70%	19.10%	66.70%
40代	25.10%		24.00%	
50代	27.50%		23.60%	
60代	14.70%	19.60%	15.60%	21.90%
70代	4.50%		5.50%	
80代	0.40%		0.80%	

# 地域通貨「のべおかCOIN」のこれから

行動変容・行動誘発に寄与する取り組み

デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプTYPE1）

を活用した「誰一人取り残さないポータルアプリの構築」

ポータルアプリのサービスイメージ



①市公式アプリ



②連携アプリ



③Web サービス



④市 HP、ポータルサイト

①市公式アプリ、②市が連携しているアプリ  
③市のWeb サービス ④市 HP、ポータルサイト等  
について、アイコンを表示させることにより、  
視認・アクセスしやすいインターフェースにする。

